

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興		
事業内容	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	50,901	59,595	52,262	44,719	52,489
		(b) 予算現額	35,668	42,564	28,616	38,441	51,440
		(c) 増減額(b-a)	▲ 15,233	▲ 17,031	▲ 23,646	▲ 6,278	▲ 1,049
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	35,668	42,564	28,616	38,441	51,440
	B. 執行済額		33,970	36,104	27,926	36,514	50,081
	うち交付金充当額		27,176	28,883	22,340	29,211	40,064
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		95.2%	84.8%	97.6%	95.0%	97.4%
予算の状況の説明		観光誘客受入委託業務について、委託料の精算により予算を減額した。不用額は、労働者派遣個別契約における新型コロナウイルスの影響による委託料の減や旅費の精算などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):40,000部・(多言語版):10,000部、A2ポスター:80枚、村PR用ノベルティ(タンブラー、トートバッグ、カトラリーセット):1,000個	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	PR活動への地域事業者派遣:12人	目 標	(12人派遣)	(11人派遣)	(12人派遣)	(12人派遣)	
		実 績	実績なし	2人派遣	5人派遣	5人派遣	
	広告掲載(沖縄・離島情報):18万部	目 標	(18万部)	(18万部)	(18万部)	(18万部)	
		実 績	20万部	20万部	20万部	20万部	
	外国語スタッフの配置:2人	目 標	(3人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実 績	2人	2人	2人	2人	
達成状況説明	PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)40,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)10,000部、A2ポスター100枚、村PR用ノベルティ(保冷トートバッグ、サコッシュ、種付き鉛筆、ホケットチッシュ)を作成し県内外イベント参加時のPR活動へ活用した。県外イベントへはきめ細やかなPR案内を行うため、インストラクター等の専門的な知識を有する地元事業者を5名派遣した。さらに「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し20万部を発行するとともに、那覇泊港へ外国語スタッフ2名を配置し、外国人観光客対応を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	・年間入域観光客数 85,300人以上	目 標	(109,578)	(85,300)	(134,800)	(134,800)	()
		実 績		52,515	105,497	115,592	
	・観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実 績		80%	82%	86%	
進捗状況説明	・年間入域観光客数は、目標に届かなかったが前年度から10,095人増加し、前年比(109.5%)となった。 ・アンケートについては、WEB調査、事業者・村民アンケートを実施した。渡嘉敷村は積極的に観光客を増やすべきかの問いに、増やすべき・やや増やすべき(58.3%)今後、観光推進により、渡嘉敷村民として懸念することの問いに、観光客による騒音・ゴミ・無断駐車等の問題(76.7%)や観光客のマナー違反(69.2%)など課題があり今後の検証が必要である。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(年間入域観光客数) ・新型コロナが第5類に移行し回復期に向かいつつある。急激な観光客増に対応しつつ、満足度の高いツーリズム体験を提供することのできる受入体制を整える。 ・誘客を推進をするうえで、ターゲットや方向性を検討する必要がある。 (アンケート) ・スマホでQRコードを読み取らせる方法で、アンケートを実施している。アクティブシニア層や外国人観光客からの有効な回答数を得られる方法について、さらに検討する必要がある。	(年間入域観光客数) ・アドベンチャーツーリズムを取り入れるなど、閑散期の観光誘客メニューを作成し入域数の平準化を図る。 (アンケート) ・過去の入域数データを参考に、アンケートの実施スケジュールを作成する。
今後の取り組み方針		
	(年間入域観光客数) ・地域事業者の意見を踏まえて、観光誘客メニューを作成し、観光誘客に取り組む。 (アンケート) ・実施スケジュールに基づくアンケートに取り組む。	

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		50,081	50,081	40,064	10,017	
渡嘉敷村 50,081千円 旅 費 1,728千円 職員職員 1,068千円 臨時職員等 660千円 (県内、県外イベントPR活動にかかる旅費) 広告料 38千円 (株)林檎プロモーション38千円 (雑誌「沖縄・離島情報」への広告掲載) 委託料 47,538千円 (株)JTB沖縄 35,595千円 (株)琉球新報開発 11,943千円 (・渡嘉敷村観光誘客受委託業務 ・労働者派遣個別契約委託業務) 使用料 777千円 (株)水中造形センター 517千円 ツーリズムEXPOジャパン 260千円 (マリンダイビングフェア出展料 ツーリズムEXPOジャパン2023出展料)						
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え える。 ○不用額は事業費の5%となっており、ほぼ妥当な予算規模と考 える。 ○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し 必要なものであったと判断する。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-ア	
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地として景観形成を図るため、村内の海浜、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,886	11,627	10,672	9,140	11,030
		(b)予算現額	7,042	9,098	8,405	8,598	9,740
		(c)増減額(b-a)	▲2,844	▲2,529	▲2,267	▲542	▲1,290
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		7,042	9,098	8,405	8,598	9,740
	B. 執行済額		5,102	8,938	7,880	8,113	8,579
	うち交付金充当額		4,081	6,910	6,304	6,491	6,863
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		72.5%	98.2%	93.8%	94.4%	88.1%
予算の状況の説明		美化清掃員が欠員のため、報酬などの減額と、人員不足のかかり作業車両の使用頻度が下がったため、燃料費を減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	花木植栽10箇所実施	目標	(花木植栽8箇所)	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)	
		実績	花木植栽8箇所	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所	
	美化清掃10箇所実施	目標	(美化清掃8箇所)	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)	
		実績	美化清掃8箇所	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所	
	渡嘉志久海岸公園師匠枝除去作業	目標	()	()	()	()	
実績					公園内7952.91㎡(28本)		
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等10箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、美花原遊歩道、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園、ユクンチジ花壇)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		92%	86%	87%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	公衆トイレや展望台の清掃、除草作業を実施したことで、観光整備が行き届いた魅力ある観光地として景観を維持することができた。観光客を対象としたアンケートでは、本事業10箇所において「きれい」との肯定的な回答は87%だった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度は観光客が増加傾向にありましたが、作業員4名の連携によって整備が行き届き景観を維持することができた。しかし、作業員の高齢化は解消できないため今後も取組が必要である。	雇用携帯の見直し、通年を通して人材の確保の必要がある。
今後の取り組み方針		
地域住民に美化清掃事業の周知を行い人材の確保に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>8,601</td><td>8,601</td><td>6,881</td><td>1,720</td><td></td></tr></table>				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,601	8,601	6,881	1,720	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
8,601	8,601	6,881	1,720												
渡嘉敷村 9,876千円		報酬 4,234千円 共済費 742千円 職員手当 900千円 使用料及び賃借料 245千円 負担金、補助及び交付金 17千円 需用費 649千円 委託料 1,793千円 会計年度任用職員4名分 会計年度任用職員4名分 会計年度任用職員4名分 軽ワゴンリース代 講習費 業務車両2台分及び草刈機用 緑化資材・・・花・培養土・肥料 清掃用具・・・刈払機用チップソー・安全コード 渡嘉志久海岸公園除去業務 対象外経費 1,274千円													
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○作業員は村内公募により採用しており、妥当であった。 ○清掃箇所に対し作業員4名の人件費と作業に伴う需用費を支出。予算規模についても適正であった。 ○費目、使途について、事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時に支出等に関する書類により確定、適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	渡嘉敷村観光振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	観光産業課	事業実施 (予定)年度	平成29年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	持続可能で質の高い離島観光 の振興		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	17,800	17,800	33,135	40,460	
		(b) 予算現額	3,600	8,800	24,135	36,139	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 14,200	▲ 9,000	▲ 9,000	▲ 4,321	
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	3,600	8,800	24,135	36,139	
	B. 執行済額		3200	1,100	22,581	33,442	
	うち交付金充当額		2560	880	18,064	26,753	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		88.9%	12.5%	93.6%	92.5%	
予算の状況の説明		執行済額については、未執行額や交付対象外経費を精査し補助金4,321千円の返還が発生したため、年度内で受入し、交付金の実績報告に反映しております。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光協会への支援	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	各イベントへの支援	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	商工会への支援	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	達成 状況 説明	渡嘉敷村の観光振興を図るため、誘客活動や修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会を支援した。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度
年間入域観光客数		目 標	()	(85,300)	(135,300)	(134,800)	()
		実 績		52,515	105,449	109,624	
修学旅行受入校数		目 標	()	(10校)	(10校)	(10校)	()
		実 績		0校	0校	0校	
特産品のブランド化・PR		目 標	()	()	()	(実施)	()
		実 績				実施	
進 捗 状 況 説 明		・目標値には達しなかったが、前年度比から微増し109,624人を達成することができた。 ・修学旅行の受入については、新型コロナウイルス感染症の影響も薄まり回復傾向にある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度はコロナの感染者が増加したことで修学旅行の中止(キャンセル)等があったが本年度は影響が薄まり、マラソンやまつりも規模は縮小したが実施できた。	引き続きSNSを活用した島内観光のアピールを継続しつつ、修学旅行受入に向けた県内外への誘致活動を観光協会を中心に取組んでいただく。
今後の取り組み方針		
渡嘉敷村観光協会を中心に受入体制の整備・構築及び村内各事業者や観光客へのPR等に対する支援を継続し、観光誘客に取組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		37,763	33,442	26,753	6,689	4,321

渡嘉敷村
33,442千円

補助金
27,442千円

委託料
6,000千円

(一社)渡嘉敷村観光協会
15,669千円

とかしきマラソン実行委員会
4,175千円

渡嘉敷村商工会
7,598千円

有限会社サウスエリア
6,000千円

ほか対象外経費 4,321千円

渡嘉敷村観光振興事業補助金

とかしきマラソン運営補助金

渡嘉敷村地域ブランド構築・発信事業補助金

とかしきまつり運営業務委託

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、交付金交付要綱による審査により決定していることから、妥当であると考ええる。 ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。 ○費目、使途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村									
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1-④		渡嘉敷村海域安全確保事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	観光産業課			事業実施 (予定)年度	令和元年～令和13年 度		沖縄振興基本方針 該当箇所		持続可能で質の高い離島観 光の振興	
								Ⅲ-1-(1)		
事業内容	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。									
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)									
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,534	19,063	19,240	24,638	25,385			
		(b)予算現額	10,534	18,331	18,714	18,621	20,324			
		(c)増減額(b-a)	0	▲732	▲526	▲6,017	▲5,061			
		(d)繰越額	-	-	-					
	A. 計(b+d)		10,534	18,331	18,714	18,621	20,324			
	B. 執行済額		9923	18331	18,714	18,621	20,301			
	うち交付金充当額		7938	14664	14,971	14,897	16,241			
	次年度繰越額		0	0	0					
	執行率(%) (B/A)		94.2%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%			
予算の状況の説明		不用額6,017千円については、委託の精算によるものである。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況						
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7、8月 阿波連ビーチ 1名追加)			目 標 (4月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)			
				実 績 4月18日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置	4月16日～10月31日 配置			
達成 状 況 説 明	4月16日から10月31日 までの間、村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において水難救助員4名が常駐し監視業務を行った。夏季繁忙期(7月1日～8月31日)においては、阿波連ビーチへ1名増員し、5名体制にて監視業務を行った。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)		
				目 標 ()	(0件)	(0件)	(0件)	()		
	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故			実 績	0件	1件	0件			
	アンケート 観光客を対象とした安全性が確保されている かのアンケート			目 標 ()	()	()	(80%以上)	()		
				実 績			未実施			
	進 捗 状 況 説 明	・村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において令和5年4月16日～令和5年10月31日の間、水難救助員等を配置し、ビーチにおける事故防止と安全確保を図ることが出来た。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ビーチ内に遊泳監視区域を設定したうえで、水難救助員等を配置しているが、区域外を利用する遊泳者も含めた監視活動を実施している。夏季繁忙期においては1名の増員を行ってはいるが、遊泳者の状況によっては、十分な監視体制の確保が困難となる。 ・令和4年度においては、遊泳者の体調不良に起因するものではあるが死亡事故が発生した。遊泳中の早期事故発見はもちろんのこと、入水前の健康管理についても遊泳客への十分な周知・指導が必要である。	・ビーチにおける事故防止と安全確保は、「監視体制の確保(水難救助員等)」と「遊泳者(ビーチ利用者)による利用ルールの遵守」から可能となると考える。 ・入水前の、ルール周知の徹底を行う。
今後の取り組み方針		
・水難救助の講習会やトレーニングにより、人材の確保・育成に努め、状況に応じた更なる監視体制の構築を図る。 ・村HP掲載や、ビーチ入り口における利用ルール看板の設置や、監視員にリーフレットを携帯させるなど周知を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>20,301</td><td>20,301</td><td>16,241</td><td>4,060</td><td></td></tr></table> 渡嘉敷村 20,301千円 委託費 20,301千円 株式会社 JSJ 20,301千円 業務内容(2ビーチ) ・監視、パトロール ・事故防止のための安全指導等					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,301	20,301	16,241	4,060	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,301	20,301	16,241	4,060											
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え。 ○不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28年度 ～ 令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃を半額補助する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,170	4,233	5,112	5,891	6,224	
		(b)予算現額	5,456	5,839	5,112	6,824	6,224	
		(c)増減額(b-a)	1,286	1,606	0	933	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	5,456	5,839	5,112	6,824	6,224	
	B.執行済額		5456	5839	6291	6,208	5,693	
	うち交付金充当額		4365	4671	5033	4,967	4,554	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	123.1%	91.0%	91.5%	
予算の状況の説明		最終的には予算額を下回る執行額になったが、引越し等による2月・3月の増加率が年度によってバラツキがあり予測が難しく予算の増減は行わなかった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め)	目 標	(500)	(730)	(810)	(860)		
		実 績	790	1020	980	858		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	利用台数が令和3年度から減少傾向にあるが、観光業がコロナ禍前の水準に戻ることで、利用台数もコロナ禍前の数値に近くなるのではないかと考える。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以」	
		実 績		99%	99%	99%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成30年度よりアンケートを実施し、本事業について99%の方から「満足している」との回答を得ている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初目標に近い台数ではあるものの僅かに下回った原因として、観光業に従事する村民が多く、コロナの影響がなくなり観光客が増加したことで、車両に乗って島外に出る頻度が減ったことが考えられる。	村民に十分に周知されており、生活に役立っていると考えている。港での申請方法などで改善点が発生した際には適宜検討する。
今後の取り組み方針		
住民へ認知もされていて満足度も高いため、事業の継続実施に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,693</td><td>5,693</td><td>4,555</td><td>1,138</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,693	5,693	4,555	1,138	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,693	5,693	4,555	1,138	0										
渡嘉敷村 〔一般会計〕 5,693千円 補助金 5,693千円 渡嘉敷村 〔航路事業特別会計〕 5,693千円 車両航送費を 半額補助														
資金使途の流 点れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船舶課のみとなるため妥当だと考える。 ○予算規模については妥当だと考える。 ○受益者との負担関係は、車両航送運賃を適正に支援しているため妥当だと考える。 ○費目・使途については、各停時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成25年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所		交通・生活コストの低減	
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,300	3,300	3,300	1,200	1,200
		(b)予算現額	1,300	1,300	1,300	1,200	1,200
		(c)増減額(b-a)	▲2,000	▲2,000	▲2,000	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	1,300	1,300	1,300	1,200	1,200
	B.執行済額		210	120	60	480	320
	うち交付金充当額		168	96	48	384	256
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		16.2%	9.2%	4.6%	40.0%	26.7%
予算の状況の説明		平年より台風の接近が少なかったことにより、想定より利用数が少なくなり、不用額が発生した。 減額変更しなかった理由としては、1月～3月の冬季に時化による定期船の欠航が多いため、利用数が増えると思込んでいたためである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	定期船欠航時、及び予定運航時刻変更時のヘリコプターチャーター運賃の支援	目 標	(110回)	(110回)	(30回)	(30回)	
		実 績	4回	2回	12回	8回	
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成状況説明	前年同様にヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上を)含めアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目 標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	利用者は大幅に減少しているが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができた。	村としても、ヘリタクシーが定期船欠航時の移動手段として有用である事の周知を進め、利用率の向上や認知度向上に努める。
今後の取り組み方針		
アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>320</td><td>320</td><td>256</td><td>64</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	320	320	256	64	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
320	320	256	64	0										
渡嘉敷村 3 2 0 千円 補助金 3 2 0 千円 エクセル航空 (株) 3 2 0 千円 (運航経費の半額 320,000円)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。 ○予算規模については、これまでの補助回数の実績等により算出しているため妥当と考える。 ○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。 ○費目・使途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	小学校学習支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行い、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,415	9,562	10,724	5,765	5,565
		(b)予算現額	4,888	7,354	9,241	5,762	2,339
		(c)増減額(b-a)	▲1,527	▲2,208	▲1,483	▲3	▲3,226
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,888	7,354	9,241	5,762	2,339
	B.執行済額		3,793	3,182	5,597	4,454	2,773
	うち交付金充当額		3,034	2,545	4,477	2,210	2,218
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		77.6%	43.3%	60.6%	77.3%	118.6%
予算の状況の説明		学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算査定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	渡嘉敷小学校へ支援員を2名配置 阿波連小学校へ支援員を2名配置	目標	(4 名)	(4 名)	(4 名)	(4 名)	
		実績	2 名	3 名	3 名	2 名	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和5年度は、渡嘉敷小学校1名、阿波連小学校1名の計2名配置でスタートし、年度途中も募集を行ったが、応募者がいなかったため、目標の4名配置は達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正解率+7.9ポイント以上	目標	()	(3.1)	(7.9)	(7.9)	()
		実績		4.7	4.2	3.1	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村の全体平均正答率の差が、+7.9ポイントを下回る+3.1ポイントという結果となった。 令和5年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小5国語(村66.9%、県64.2%)、小5算数(村63.1%、県58.5%)、小6国語(村68.1%県66%)、小6算数(村51.3%、県48.2%)である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年間を通して、学習支援員の募集を行ってきたが、目標の人数確保ができなかった。また、自己都合により中途退職者もあった。目標値には届かなかったが、県の全体平均正当率を上回った結果となり、これまでの本事業を活用した取組を継続することで、児童の学力向上が図られていると考える。	年度始めから、人員確保ができなかったため、計画した人員の配置ができるよう継続して募集を行う。
今後の取り組み方針		
今後も人員不足の状況が想定されるため、現在配置している支援員の断続意思の確認や、情報収集を行うことで人員確保に努め、本事業を活用した取組を実施し児童の学力向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,766</td><td>2,774</td><td>2,218</td><td>556</td><td>992</td></tr> </table> 渡嘉敷村 2,774千円 → 報酬・共済費 2,774千円 → 学習支援員 2,774千円 〔 渡嘉敷小学校1名 阿波連小学校 1 名 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,766	2,774	2,218	556	992
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,766	2,774	2,218	556	992										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定しているため、予算規模は適正であったと考える。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については、実績にもとづいており適正であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	児童・生徒派遣支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
						Ⅲ-3-(1)		
事業内容	村外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせるとともに、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、渡航費等の補助を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,288	2,715	3,306	5,412	3,486	
		(b)予算現額	2,110	517	1,884	5,412	2,435	
		(c)増減額(b-a)	▲178	▲2,198	▲1,422	0	▲1,051	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	2,110	517	1,884	5,412	3,280	
	B.執行済額		1,714	420	736	2,595	3,062	
	うち交付金充当額		1,370	336	589	1,397	2,450	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		81.2%	81.2%	39.1%	47.9%	93.4%	
予算の状況の説明		予算については、大会中止、大会派遣期間の短縮、天候による船舶の欠航のため派遣できなかった大会があったことで派遣費の減額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	阿波連小学校児童派遣 5件	目標	(4件)	(5件)	(5件)	(5件)		
		実績	1件	2件	3件	4件		
	渡嘉敷小学校児童派遣 4件	目標	(3件)	(4件)	(4件)	(4件)		
		実績	1件	1件	5件	3件		
	渡嘉敷中学校生徒派遣 11件	目標	(10件)	(11件)	(11件)	(11件)		
実績		3件	6件	10件	8件			
【参考指標】派遣児童生徒累計		実績	71名	131名	294名	218名		
達成状況説明	大会中止や天候による船舶の欠航のため派遣できなかった大会もあるが、ほぼ予定通りに参加できた。村外のスポーツ大会や文化事業発表会に参加することで、離島小規模校ではできない貴重な体験をすることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	児童生徒の視野が広がったかどうかを含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実績		78%	84%	93%		
進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童生徒が村外で実施されたスポーツ大会及び文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校ではできない体験をすることができたと回答した割合は、93%だった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	悪天候による船舶の欠航のため参加できない大会があった。	村内では体験できない各種教育活動に派遣することで、児童生徒の意欲を高めるとともに、船舶の欠航等により予定の大会に派遣できない場合の内容を検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に児童生徒が継続して参加することで、広い視野を持たせるとともに、児童生徒の意欲や交流機会を確保する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,939</td><td>3,063</td><td>2,450</td><td>613</td><td>877</td></tr> </table> 渡嘉敷村 3,063千円 補助金 3,063千円 阿波連小学校 660千円 渡嘉敷小学校 581千円 渡嘉敷中学校 1,822千円 船舶運賃、宿泊費 車両航送運賃 船舶運賃、宿泊費 車両航送運賃 船舶運賃、宿泊費 車両航送運賃					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,939	3,063	2,450	613	877
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,939	3,063	2,450	613	877										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校による申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、船舶欠航の影響があったものの妥当であったと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認しているため、適正であったと考える。											

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	家庭教育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-イ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28年度～ 令和13年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	子供たちの健やかな育成に向けた地域全体の連携
事業内容	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	13,402	12,727	15,603	13,355	10,853
		(b)予算現額	9,000	7,674	12,583	9,473	7,913
		(c)増減額(b-a)	▲4,402	▲5,053	▲3,020	▲3,882	▲2,940
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		9,000	7,674	12,583	9,473	7,913
	B. 執行済額		8,999	7,674	6,561	7,395	7,307
	うち交付金充当額		7,199	6,139	5,249	5,916	5,845
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	52.1%	78.1%	92.3%
予算の状況の説明		対象児童生徒数47名に対して、参加児童生徒は27名となったため当初予算の減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学校5年(国語・算数)74授業 小学校6年(国語・算数)74授業 中学校1年(英語・数学)74授業 中学校2年(英語・数学)74授業 中学校3年(英語・数学・国語)137授業	目標	(420授業)	(452授業)	(418授業)	(481授業)	
		実績	382授業	384授業	369授業	400授業	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学校行事、船の欠航等で休講になった際には、別日に授業を実施して対応したが、結果的に予定より減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	中学3年生は、志望校合格率80%以上	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	100%	100%	
	学習塾で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1点以内とする。	目標	()	(-14.1点以内)	(-14.1点以内)	(-14.1点以内)	()
		実績		-41点	-21.2	未実施	
	進捗状況説明	中学3年生は第1志望校に全員合格することができた。 学習塾で実施する全国規模のテストについては、未実施となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(事業数) オンライン会議システムで授業を行う際、各家庭で接続が出来ずに授業を受けられない児童生徒もいた。	(事業数) 今後も海上時化の際には、直ぐにオンライン会議システムでの授業に切り替え、事前に児童生徒には機器の使用方をしっかり指導する。 (全国平均の差) 学校と連携し、児童生徒が苦手とする単元を塾でも授業を行うことで苦手教科の克服を図る。
今後の取り組み方針		
(事業数) 講師が来島出来ない時には、ライブ授業への切り替えをスムーズに行えるよう、事前に機器の操作方を児童生徒に指導、保護者へ共有する。 (全国平均の差) 毎授業、理解度テストを行い学力の定着度を確認する。 学校と定期的に情報共有とし、苦手とする教科を把握する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,307	7,307	5,845	1,462	0

渡嘉敷村
7,307千円

委託料
7,307千円

一般社団法人 教育振興会
7,307千円

オンライン学習塾の運営
・講師の選定
・使用機器の選定
・システムの構築
・現場支援員の確保、指導

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は企画提案募集で選定しており妥当である。 ・不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ・対象外経費のみ受益者負担としているため、妥当と考える。 ・費目、使途については精算段階で検査をしており、事業目的達成のために必要、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	渡嘉敷村農村整備振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-キ	
担当部課名	観光産業課	事業実施 (予定)年度	令和4年～令和13年			沖縄振興基本方針 該当箇所	魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献
事業内容	農村地域の整備を行い、魅力と活力のある持続可能な農業振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		(a)当初予算額	4,416	4,416			
		(b)予算現額	4,416	3,850			
		(c)増減額(b-a)	0	▲566			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	4,416	3,850			
		B.執行済額	4,336	3,850			
		うち交付金充当額	3,469	3,080			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.2%	100.0%				
予算の状況の説明	委託契約分は4,257千円満額執行済。需用費の部分において不用額が発生している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	
		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	植栽や草刈等の委託業務を全て完了している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
		目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			80%	75%	
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
	進捗状況説明	農道の整備等を行ったことで農業従事者の意欲向上に繋がった。 令和4年度開通を予定していた新道の開通が見送られたことで、観光客の利用は見込み通りにはならなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初の想定では、新道が開通することで観光客の導線が大きく変わることを見込んだ整備計画であったが、開通が延期となったことで当初の予定通りとはならなかった。	令和6年度の開通を視野に入れ、継続して管理・整備を実施する。また、農道の草刈等についても継続することで農業従事者の利便性と意欲の向上に努める。
今後の取り組み方針		
引き続き農道や公園付近の維持管理に努め、豊かな自然と農業の調和した環境を保護していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,850</td><td>3,850</td><td>3,080</td><td>770</td><td></td></tr></table> 渡嘉敷村 3,850千円 委託料 3,850千円 合同会社ケラマ GREEN 3,850千円 農村公園一帯の整備、 植栽及び農道の草刈業 務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,850	3,850	3,080	770	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,850	3,850	3,080	770											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札により選定しており、妥当であると考え る。 ○不用額もほぼ発生しておらず、妥当な予算規模と考 える。 ○使途については、検査を実施しており目的に則し必要 な物であったと判断する。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村										
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	5-①		渡嘉敷村防災体制強化事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-2-(4)-ア		
担当部署名	総務課			事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		危機管理体制の強化		
									Ⅲ-10-(3)		
事業内容	安全・安心に暮らせる島及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を様々な手段(メディア)で発信できるよう防災無線の機能強化を行い、村の防災体制及び危機管理体制の向上を図る。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()										
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	75,680								
		(b)予算現額	75,680								
		(c)増減額(b-a)	0								
		(d)繰越額									
		A. 計(b+d)	75,680								
	B. 執行済額		75,680								
	うち交付金充当額		60,544								
	次年度繰越額										
	執行率(%) (B/A)		100.0%								
予算の状況の説明		計画通りに執行を行った。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況							
				R5年度							
	デジタル防災無線システムの機能強化	目 標	(防災CMS の導入)	()	()	()	()				
		実 績	導入済み								
		目 標	()	()	()	()	()				
		実 績									
達成 状 況 説 明	本村主要SNSアプリへの連動登録が完了した。										
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度					
	複数メディアへ配信装置(防災CMS)の導入	目 標	()	(装置導入)	()	()	()	()			
		実 績		装置導入							
	【参考指標】 避難訓練時に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上	目 標	()	()	(80%)	()	()	()			
		実 績									
	進 捗 状 況 説 明	渡嘉敷村公式SNS、X(元Twitter)、Instagram、LINEへの登録が完了した。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災行政無線と、SNSを連動することで、防災無線の聞こえない箇所に関しても、情報伝達が可能となった。	村公式SNSの登録者数を増やし、防災CMS効率を上げる。
今後の取り組み方針		
役場基地局の機能強化に併せて、子局(防災スピーカー)の機能強化を行い、更に防災機能の向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
渡嘉敷村 75,680千円 委託料 75,680千円 (株)興洋電子 75, 680千円 渡嘉敷村防災行政無線システム 機能強化事業業務委託				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
75,680	75,680	60,544	15,136	0
資金使途の流れ・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		